



17 (1985) 2, 93-97

森川 晶夫\*<sup>2</sup> 藤川 徳次郎\*<sup>3</sup> 吉村 博安\*<sup>4</sup>

## Energy Strategy at Kawasaki Steel

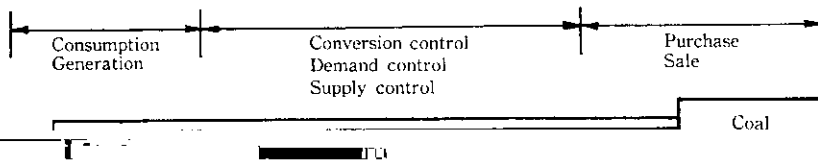
Akio Morikawa, ToKujiro Fujikawa, Hiroyasu Yoshimura

要旨

Synopsis:

石油危機以後、エネルギー多消費産業である製鉄所は省

Since the oil crisis, steelworks has powerfully pushed its own energy saving



● Oil-related fuel (incl. LPG) consumption  
(100% shows oil related fuel consumption in 1974)

✕ Energy self-sufficiency ratio

○ Electric energy self-sufficiency ratio

**Table 1** Energy saving measures at Kawasaki Steel

Chiba Works

Mitsui Works

ガスについても、単に燃料ガスとしてでなく、より付加価値を加えて販出することが出来た。粗ガスの精製分離技術が重要である。

粗ガスの高純度のCOガスを製造する技術が重要である。

技術を当社と大阪酸素(株)とで共同開発した。

その技術については粗ガスの「粗ガスの高純度のCOガス」

原料炭をソースとして、高いエネルギー自給レベルに達し、電力会

社も同じく原料炭をソースとして、高いエネルギー自給レベルに達し、電力会